

# 第4章

## 基本計画

---

1. ≪学べる≫ ～すべての村民が学べる環境づくり～
2. ≪活かせる≫ ～学んだ成果を活かせる地域社会の実現～
3. ≪つながる≫ ～地域の教育力向上とつながる地域社会の構築～
4. 基本施策等の目標値



## 第4章 基本計画

### 1 《学べる》 ～すべての村民が学べる環境づくり～

村民アンケート調査では、61.5%の方がこの1年間になんらかの生涯学習を行っているという回答しています。これは、2015年（平成27年）12月に実施された内閣府全国調査の同様の質問における47.5%と比べ14ポイント高く、北塩原村民の生涯学習活動は全国平均よりも活発であると考えられます。

その一方、学習をするうえでの支障となる設問に対して、「時間に余裕がない（23.4%）」、「一緒にする仲間が少ない（16.8%）」、「希望する内容のものが少ない（10.9%）」等の回答も得られており、気軽に参加できるなどきめ細やかな学習機会の提供が必要となっています。

また、村が何に力を入れるべきかという設問に対して、「学習や活動に関する講座などの情報提供を充実する（16.8%）」、「住民のニーズや満足度などを把握し、反映させる（16.3%）」等の回答が得られており、学習情報の提供や住民ニーズの把握が求められています。



## (1) 学習活動のきっかけづくり

生涯学習に関する講座やイベントは、様々な場所で開催されており、その情報を収集・整理し、村民に必要な情報を提供していくことが必要です。広報誌、チラシ、ホームページなど多様な方法で学習情報を提供します。また学習活動を行っていない村民に対し、生涯学習の普及・啓発に努め、村民の主体的な学習活動のきっかけづくりを支援します。

施策	内容
情報誌・チラシの活用	村広報誌やチラシ・生涯学習カレンダーなどで、講座・イベントなど生涯学習情報を提供します。また、掲載方法などを工夫し、参加欲求を促すような情報媒体の発行を行います。
ホームページなどの活用	村ホームページやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用して、生涯学習情報を提供します。
地域団体の活動情報の提供	身近で活動している地域団体の活動情報の収集・提供を支援し、気軽に参加できる環境を整備します。
幼稚園・学校への効果的な情報提供	幼稚園児や小中学生を対象とした生涯学習関連事業の年間スケジュールを取りまとめて、情報を提供します。
介護施設等に関する情報提供・発信	村内の介護関連施設に入所している方へ生涯学習情報を提供するとともに、当施設で行われるイベント情報を発信し、入所者との交流の機会を提供します。
近隣自治体との生涯学習情報の共有・発信	村内外関わらず生活圏における皆さんの活動がより盛んになるよう、近隣自治体における生涯学習情報を村内に周知するとともに、村内で行われている活動を村外に広く発信します。
普及・啓発活動の充実	学ぶことの意義や楽しさなども含めた生涯学習の理念について、普及・啓発に努めます。



村ホームページやフェイスブック、広報誌による情報提供

## (2) 身近な学習機会の提供

身近な学習機会の提供をするため、対象者に配慮した多様な分野における村民向けの講座を充実します。また、村や教育機関が企画するだけでなく、村民や地域団体の企画による講座の開催促進など、様々な主体による講座の開催を支援します。

施策	内容
村民向け講座の開催	多様な分野における村民向けの講座の充実を図ります。また、講座の対象者を想定し、参加しやすい日時での講座を開催します。
村民等の企画による講座の開催	村民や地域団体などの企画による生涯学習講座を募集し、新たな指導者として活躍する機会の提供と、地域団体への関心の醸成を図ります。
地域に関する講座の開催	地域への関心を高めるために、地域の歴史、自然、特色など地域性を重視した内容についての講座を開催します。
図書への充実	村民の読書活動による学習機会の提供と集える場の確保のため、図書室の蔵書数・内容の充実を図り、気軽に図書に親しめる環境の整備に努めます。



村民を講師とした講演会（写真講座）



村民を対象にした歴史講座



図書室の環境整備

### (3) 多様な分野におけるきっかけづくり

ライフスタイルや価値観の多様化を背景に、村民の学習ニーズも多様化しています。文化、芸術、歴史、スポーツ、健康づくり、交流活動など多様な分野における学習のきっかけづくりに取り組めます。

施策	内容
文化・芸術にふれるきっかけづくり	生涯学習センターの展示スペースの利用のほか、近隣市町村で催されるイベントへの参加を促し、文化・芸術にふれるきっかけづくりを行います。
歴史・文化財を学ぶきっかけづくり	展示会や史跡での説明会、講座等の開催により、村の歴史や文化財にふれる機会を充実します。また、ガイドボランティアなど村民と協力して、村の歴史を学ぶきっかけづくりを行います。
本に親しむきっかけづくり	ブックスタートや絵本の読み聞かせを行い、幼いころから読書する習慣を身につけるように支援します。
スポーツに親しむきっかけづくり	ニュースポーツの振興を図り、スポーツを気軽にはじめるきっかけづくりを行います。また、身近で活動しているスポーツ団体の活動情報や、村体育協会やスポーツ推進委員が行っている既存事業のPRを行い、参加促進を図ります。
身近な場での健康づくり	保健衛生協力員や食生活改善推進員などによる地区活動を支援し、身近な場での健康づくりの重要性や、気軽に取り組む方法について啓発に努めます。また、栄養教室や運動教室、個別健康相談など健康づくりの機会を提供します。
国際、県内外等交流活動の推進	国際交流のほか、交流自治体や大学など村が推進する各種機関との積極的な交流を行い、異文化や多様性にふれるきっかけづくりと、人間力の向上を図ります。
多彩なツーリズムの推進	エコツーリズムやジオパークなどを通して、地域の魅力や素晴らしさを体感できるような学習する機会を提供します。



柏木城跡の発掘体験



乳幼児を対象にしたブックスタート



いきいき百歳体操

#### (4) ライフステージに応じたきっかけづくり

生涯にわたって生き生きと充実した生活を送るために、乳幼児期、青少年期、青年期、成人期、子育て期、高齢期といったライフステージに応じて様々な学びが必要となります。それぞれのライフステージにあった課題や学習方法を踏まえて、内容、日時、場所を設定し、講座を開催します。

施策	内容
乳幼児期	親子が身近な地域で安心して過ごせる場づくりとして、生涯学習センターや保育園、幼稚園などの施設を利用し、親子で参加する遊びや交流の場を提供します。
青少年期	心豊かに成長し、自立していくための学習支援として、村が有する自然・文化を活かした事業や、スポーツ、食育などを体験する機会を提供します。
青年期	青年（若者）らによるコミュニティの形成と、村づくりに対して主体的に参画する人材の発掘・育成を図り、社会貢献活動をする機運を高めます。
成人期	ライフスタイルや関心に応じた学習支援として、各種講座やイベントの開催、グループ・サークル活動の支援、生涯学習情報を提供します。
子育て期	乳幼児期や青少年期の保護者を対象とした子育て講座を開催し、家庭教育を支援するとともに、子育て中の親の学習や活動への参加を支援します。
高齢期	高齢者教室をはじめ、高齢者の余暇の充実、健康づくり、社会貢献活動につながる講座を開催するとともに、福祉施設などにおける、高齢者の活動の場を提供します。



幼児教育支援事業



成人セミナー



子ども体験活動事業

## 2 《活かせる》 ～学んだ成果を活かせる地域社会の実現～

学習成果を適切に活かすことのできる社会の実現は、教育基本法に定められた生涯学習の理念であり、本村の生涯学習を推進する上でも大きな柱となるものです。学習者にとっても、成果を活かせることでより大きな喜びを得ることができるとともに、さらなる学習への動機づけともなり、生涯学習全体を活性化させるものです。

村民アンケート調査では、53.2%の方が生涯学習を通じて身につけた知識や技能を活かしていると回答しています。しかし、その活用方法としては、「自己の充実や自分の生活の改善（36.8%）」が最も高くなっており、地域活動などに生かしていると回答した割合は比較的少なくなっています。「自助（じじょ）、互助（ごじょ）、共助（きょうじょ）、公助（こうじょ）」の理念のもと、学習成果を個人にとどめるだけでなく、他の人のため、地域社会のために活かすという意識が高まるような施策についても、推進していきます。

### (1) グループ等活動の支援

グループ・サークルによる継続的な活動は、人と人の絆をつくるだけでなく、地域の一体感が生まれ、地域づくりが進んでいくことも期待されます。

このため、講座受講後のグループ結成の促進、グループ・サークルのメンバー募集の支援など、グループ活動の支援に取り組みます。

施策	内容
活動（学習）グループ結成の促進	講座受講後など、村民が継続して学習や活動ができるように、グループ等活動の結成や既存活動団体への参加促進を支援します。
グループ活動の運営支援	グループのリーダー等を対象に、グループ運営の参考となる講座の開催や、グループ間の交流を促す機会を提供します。
メンバー募集の支援	講座受講者やイベント時におけるPRのほか、村の広報媒体を活用するなど、グループ等によるメンバー募集を支援します。



村民を対象にした登山活動（きびたき山の会）



ぶどうツル採り（手わっさの会）



凍み大根づくり（食生活改善推進員）

## (2) 学習成果の発表機会の拡充

日ごろの活動の成果を発表したり、他のグループ等と交流したりすることは、学習の動機づけとなり、活動の活性化につながります。

文化祭や交流フェスタなどのイベントのほか、地域の特性を生かした発表の機会を設けるなど、学習活動を通じて身につけた知識や技能などの学習成果を発表する機会の拡充や、学習成果を活かせる場の充実を図ります。

施策	内容
発表の場 交流の場づくり	生涯学習センターなど、公共の施設において定期的に学習や活動をしているグループ等の展示・発表の機会を設け、グループ等間の交流を図ります。
地域における発表・ 交流の支援	学校と地域合同による運動会や文化祭、全村民を対象にしたきたしおばら交流フェスタへの参加を呼びかけ、展示・発表の機会の拡充を図ります。
高齢者の生きがい 健康づくりの発表・ 交流機会の提供	高齢者の生きがいと健康づくりを促進するため、高齢者のサークル活動に対する支援のほか、発表・交流の機会を提供します。
観光イベント等における 発表・交流の 機会創出	観光事業者や福祉施設、事業所との連携を図り、観光イベントや福祉施設への慰問活動など新たな展示・発表の機会を支援します。



文化祭での展示



きたしおばら芸術交流会



生涯学習センターでの発表



### (3) 生涯学習関連施設等での人材活用制度の充実

学習の成果を地域社会で活かしていくことは、学習の意欲を一層高めるとともに、人々の触れ合いや仲間づくりの機会を創出し、豊かな人間関係の形成や地域社会の活性化をもたらします。

生涯学習センターや学校などの生涯学習関連施設における積極的なボランティアの活用など、人材活用の促進を図り、学習の成果を社会に活かすことができる機会を提供します。

施策	内容
生涯学習指導者の発掘等	生涯学習の講師として活動する村民で構成されている既存の生涯学習指導者名簿について、新規指導者の発掘や情報発信、利用促進を図ります。
シルバー人材センターの充実	シルバー人材センターの充実に努め、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上・活性化を支援します。
村民等のボランティア活動の支援	村ボランティアセンターや学校支援ボランティアなどによるボランティアに関する情報の提供や働きかけ、相談などを充実させ、村民や地域団体がボランティア活動をしやすい環境を図ります。



炊き出し訓練



中学生による雪かきボランティア



見守り隊活動

### 3 《つながる》 ～地域の教育力向上とつながる地域社会の構築～

東日本大震災を経て、人々の間で改めて「つながる」ことの大切さが認識されています。生涯学習を通じて新しい人間関係をつくり、地域のつながりを再構築していく取組みが求められています。

生涯学習関連施設等でのボランティアや学校支援の活動への参加、まちづくり・地域づくりの活動など、地域における様々な学習活動に参加している人の割合を増加させていくことを目標とします。

村民アンケート調査において、58.2%の方がこの1年間になんらかのボランティア活動を行っていると回答しています。また、村が何に力を入れるべきかという設問に対して、「各種団体の自主的な活動を活発にさせたり、その活動を支援する」、「ボランティア活動を支援する」を選択した割合がいずれも約1割となっているなど、地域活動の必要性についてはある程度認識されていることがうかがえます。

生涯学習を通じて地域や社会とつながっている人を増やしていくとともに、地域活動への関心を高める取組についても推進していきます。



## (1) 学びでつながる

地域における人のつながりや連帯感の希薄化が指摘されている中で、学びを通じた仲間づくりや活動団体の交流を促進します。また、地域や団体の実情に合わせた交流の場の拡充に努めます。

施策	内容
学びを通じた仲間づくりの推進	講座等の参加者同士が学習活動を通じて交流できる機会を充実し、仲間づくりや生きがいづくりを推進します。
交流の場拡充の推進	村民や活動団体同士が気軽に情報交換などの交流が図れるよう、身近な生涯学習関連施設等における交流の場としての機能の充実を図ります。
地域団体活動への参加促進	身近で活動している地域団体の活動に参加することで生まれる、村民同士のつながりを促進します。
活動団体の交流促進	体育協会や文化団体連絡協議会加盟団体のほか、その他の地域活動団体など、団体間の交流・連携が図れるよう支援し、新たなつながりを生み出します。
交流を核とした農業振興の推進	村の農業振興を図るため包括連携協定をしている東京農業大学の学生と村民の交流を促進し、地域課題の掘り起しと新たな視点によるむらづくりに役立てます。



東京農業大学生との交流



幼稚園児との世代間交流



公民館事業を通じた交流

## (2) 学びを通じた地域の教育・コミュニティの推進

家庭教育の自主性を尊重しつつ、学校をはじめとする地域のつながりの中で、家庭教育を支援する仕組みづくりに努めるとともに、学校教育と社会教育の連携・融合により、地域の教育を一体となって支えていく取組を推進します。

また、学習活動を通して社会的視野を広げ、地域の様々な活動に参加することで、地域コミュニティの担い手として力を発揮できる環境整備を進めます。

施策	内容
学校・家庭・地域の連携強化	村の宝である子どもを地域ぐるみで育てることを主体とし、地域による家庭教育の支援など学校・家庭・地域の連携強化に努めます。
学社連携・融合の推進	学校の応援団を通して、子どもに様々な体験活動の機会を提供し「生きる力」を育成するとともに、地域全体の教育力の向上を図ります。
学校図書の開放	地域の読書活動を盛んにすることに加え、読書を通じた子どもと村民相互の交流の場を広げること、地域社会の教育力の向上につなげます。
地域コミュニティ担い手の育成	若者や女性を核としたコミュニティの形成と、村づくりに対して主体的に参画する人材の発掘・育成を図り、活躍できる場を創出します。
地域づくり活動への支援	学びを通して、地域の宝を継承・保存・PRするなど自主的に活動を進める村民等を支援します。
地域で見守り・育む高齢者の支援	地域のつながり・支え合いをテーマとした講演会等を開催し、一人暮らしなどで支援を必要とする高齢者を地域で見守る体制づくりを整備します。



学校の応援団による雄国沼散策支援



若者による地域づくりアイデア



地域の支え合いを考えるワークショップ

## 4 基本施策等の目標値

### (1) 基本施策の目標値

#### ～ すべての村民が学べる環境づくり ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
生涯学習を行っている人を増やす	61.5%	65.0%	国の現状値：47.5%

※現状値は、村民アンケート調査設問「問6」〔資料編P64参照〕において、「ある」と回答した方の割合

#### ～ 学んだ成果を活かせる地域社会の実現 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
生涯学習を通じて身につけた知識や技能を活かしている人を増やす	53.2%	65.0%	

※現状値は、村民アンケート調査「問7-6」〔資料編P68参照〕において、「特に活用していない」と回答した方と「未回答」だった方以外の割合

#### ～ 地域の教育力向上とつながる地域社会の構築 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
生涯学習を通じて地域や社会とつながっている人を増やす	23.7%	50.0%	

※現状値は、村民アンケート調査「問7-6」〔資料編P68参照〕において、「行政区や地域団体での活動～」と「ボランティア活動など～」と回答した方の割合

## (2) その他の目標値

### ～ 村民ひとり1スポーツ・1文化運動の推進 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
村民ひとり1スポーツ運動を推進する ※週1回以上の実施率	41.3%	65.0%	国の現状値：40.4% 国の目標値：65.0%
村民ひとり1文化運動を推進する ※月1回以上の実施率	33.7%	50.0%	文化活動の定義が必要

※現状値は、村民アンケート調査設問「問19-1」〔資料編P78参照〕及び「問20-1」〔資料編P79参照〕において、週1回以上、又は月1回以上と回答した方の割合

### ～ 生涯学習関連施設の利用促進 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
生涯学習センターを利用する人を増やす	5.7%	20.0%	
各地区の拠点施設を利用する人を増やす（累計） ※生涯学習センターを除く	18.4%	30.0%	

※現状値は、村民アンケート調査設問「問7-5」〔資料編P67参照〕における各施設別の割合

### ～ 各種団体の活動人口の向上 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
体育協会・文化団体連絡協議会の活動内容の認知度を上げる	26.5%	50.0%	
スポーツ活動団体に加入する青少年を増やす	57.3%	65.0%	

※現状値は、村民アンケート調査設問「問21-1」〔資料編P81参照〕で「存在も活動内容も知っている」と回答した方の割合と、青少年アンケート調査設問「問4-1」〔資料編P96参照〕で「入っている」と回答した子どもの割合

### ～ 生涯学習施策の満足度の向上 ～

指 標	現状値 2017年	目標値 2027年	備 考
村の生涯学習施策に満足している人を増やす	28.1%	50.0%	

※現状値は、村民アンケート調査設問「問18」〔資料編P77参照〕で「とても満足している」と「満足している」と回答した方の割合